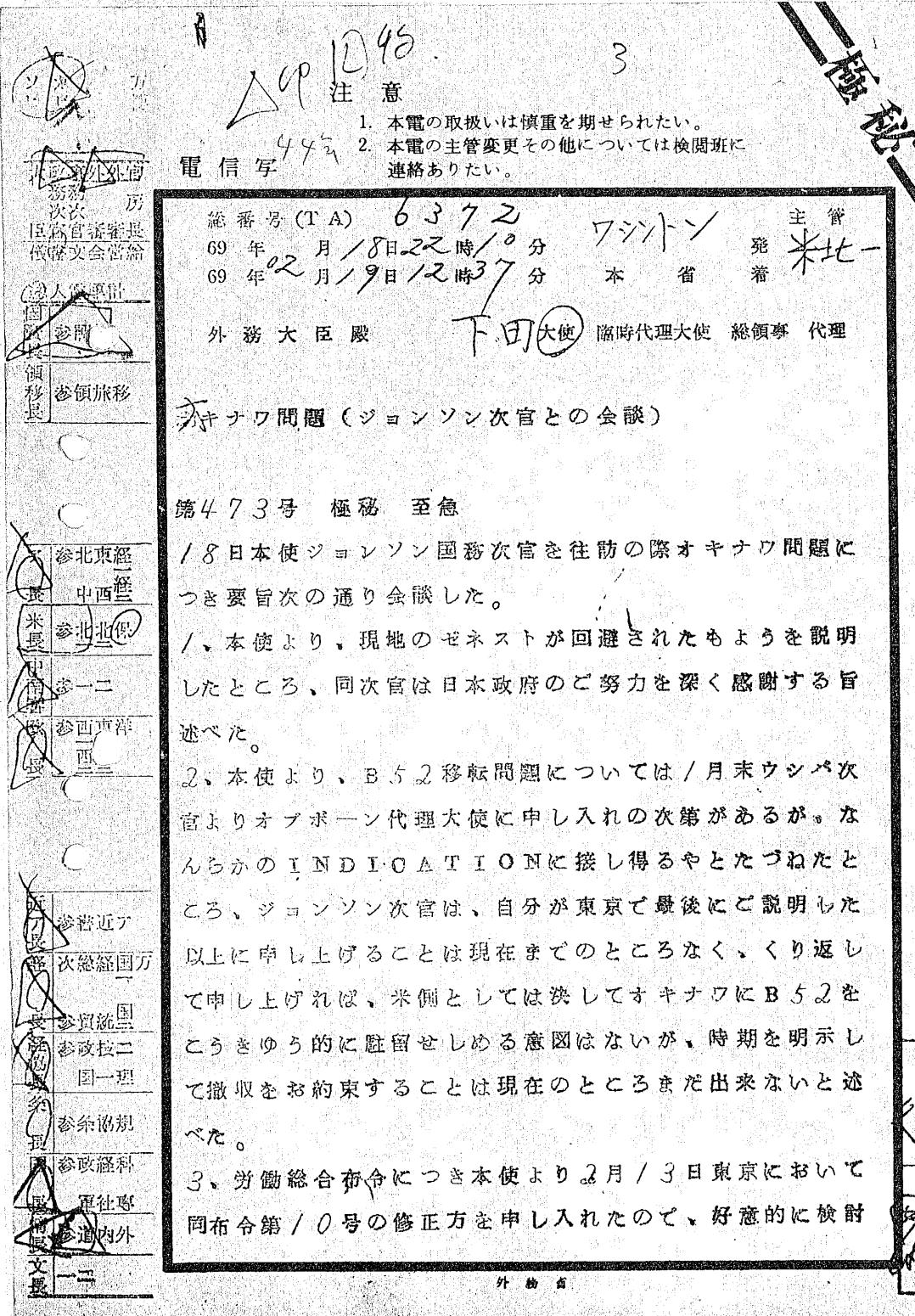


琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還） 14

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789

下田大使、ジランソン國防次官
金正日



注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ありたい旨要請したところ、同次官は右のお申し入れについては未だ承知していないが、もちろんじゅう分検討致すべしと述べ。同席のフィン日本部長は、米側としては3月/日までに各方面から提出される OBSERVATION が出てそろつた上で総合的に検討する方針なる旨説明した。

4. 先方の質問に答え、本使より日本国会の審議状況を説明し、与野党双方にオキナワ基地を本土なみとする旨の要求が強まりつつある旨、及びサンダーバーバラ会議、日米議員会議における米側出席者が好意的な発言をされたのですます右要求は強まりつつある旨を述べた。

5. 本使より、貴次官東京出発前アイチ大臣との会談においてオキナワ基地は本土なみを原則とするが、国際情勢に応じざん定的に所要の例外を認めるとのラインまで話し合いつまりながら、貴下の離任のため話し合いが途切れたことをアイチ大臣は残念に思つておられるが、今後の問題はかかる MODUS VIVENDI の内容をいかにするやをさらににつめることに在ると考えられるところ、この話し合いをいついかなるチャネルで継続することが米側にとって好都合であるかとたづねたのに対し、同次官はオブボーン代理大使は、本件話し合いを続けるじゅう分の権限

(2)

外務省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

おさずけられており、東京で同代理大使を相手として話されるのもよく、また、当地で貴使とお話ししてもよく、かつ米側としてはいつでも詰合意を開始する用意がある旨答えた。

極 秘

(3)

部外一切配布せず

(3)

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

総番号(TA) 6541
69年02月19日 09時00分 着
69年02月20日 09時23分 本省着
主 管 ワシントン
署 米北

外務大臣殿 下田大使 臨時代理大使 総領事 代理

在オキナワB52の南爆(報告)

東印オカボン会津銅鉱付

第484号 極秘 至急

貴信米北/第163号に関し

19日フイン日本部長はアサオに対し在京米大使館より在オキナワB52が南爆に従事していることを米側が公表したことがあるか否かにつき確認を求めてきたので、次のように回答した旨述べた。既に同館より通報があつたことと考えられるも念のため

1. 本件につき公表したこともなく、今後も公表する意向もない。
2. 米政府は軍用機、艦艇の具体的行動につき公表しない建前をとつており、また、日本国内の与論にもかんがみ、公表しない方が妥当であると判断している。

外務省

万 萩

大臣書記官
次官
次官審査長
儀書文会管給

総人電厚計

國
資
長
領
移
參
調
析
長
參
領
旅
移
長

參
北
經
長
中
西
三

參
北
經
長
中
南
審
政
參
西
東
洋
長
西
東

參
書
近
ア
經
次
總
國
方

參
資
統
國
參
政
技
二
國
一
理

參
條
協
規

參
政
經
科
草
社
專

參
道
內
外

文
長

一
般

外務省

(3)
之
一
般